

# ごあいさつ

代表取締役社長

押 味 至 一



株主の皆様には、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成27年4月1日から平成27年9月30日までの第119期上半期の営業概況について御報告申し上げます。

当上半期の世界経済は、先進国は堅調に推移したものの、中国を始めとする新興国の景気減速が続いたことから、全体としては弱い回復に留まりました。

我が国経済におきましては、堅調な企業収益に支えられ、雇用・所得環境の改善が進むとともに、設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

国内建設市場につきましては、製造業を中心とした設備投資の増勢から建設投資は底堅く推移し、労務需給の逼迫状況が一時的に緩和するなど、市場環境に改善がみられました。

こうした中、当上半期における当社グループの連結業績は、国内建築工事の損益改善を主因に単体業績が大きく回復し、国内外グループ会社の業績も堅調だったことから、前年同期に比べ大幅な増益となりました（詳細については3ページ以降に掲載しております）。

今後の我が国経済につきましては、世界経済の先行きに懸念はあるものの、企業収益の改善を背景として、緩やかに拡大していくものと思われれます。

国内建設市場におきましては、民間需要の増加基調が期待できる一方で、資機材・労務の動向には引き続き注視が必要であることから、必要利益の確保には企業努力を要する経営環境が続くと考えられます。

このような中、当社グループは今年度から、企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現するため、「①単体建設事業の利益率向上 ②先駆的な価値ある建設・サービスの提供 ③成長に向けたグループ経営基盤の確立」を基本方針とする「中期経営計画（2015～2017年度）」をスタートさせ、グループの総力を挙げて目標達成に向けた取り組みを推進しております。

特に、喫緊の課題である単体建設事業の再生・強化につきましては、工事受注時におけるリスク判断に慎重を期すとともに、現場第一主義の考えのもと、協力会社との協働による確実な施工体制の構築や生産性の向上等に引き続き取り組み、収益の改善・向上を図ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月